

News

創立 55 周年記念 病院対抗ボウリング大会（北部地区）を開催

京都私立病院協会は創立 55 周年を迎え記念スポーツ大会として、令和元年 11 月 10 日（日）に MK ボウル上賀茂にて京都市域の病院対抗ボウリング大会を開催したのに続き、12 月 8 日（日）にサンケイボウルにて北部地区の病院対抗ボウリング大会を開催いたしました。

6 施設 19 チームの参加で総勢約 80 人の選手及び関係者と各病院からの応援で会場は満杯となりました。富士原正人副会長の開会挨拶、坂本裕里実行委員（相馬病院）のルール説明、ゲーム開始前に富士原副会長の始球式が行われ、歓声の中ゲームがスタートしました。

会場内の関係者がスコアを見守る中最終のゲームが終了しました。会場では度々歓声が上がリ、良いプレーができれば施設に関係なく、互いに拍手でたたえあうなどの病院相互の親睦が深まった大会となりました。

ゲーム終了後は表彰式を行い、個人の部では優勝、準優勝、第三位に賞状と賞品が授与されました。団体の部では優勝、準優勝、第三位に賞状、トロフィー、賞品が授与されました。さらに、今回は創立 55 周年記念大会ということで 5 に付く順位（第 5 位、第 15 位）のチームにも賞品が贈られました。表彰式終了後にはお楽しみ抽選会を実施し、最後に山口実行委員長（京都ルネス病院）より閉会挨拶が行われ、盛会のうちに終了しました。

当日の結果は以下のとおりとなります。



○団体の部

優 勝 京都ルネス病院 A チーム
準優勝 亀岡病院 B チーム
第三位 丹後中央病院 B チーム

○個人の部

優 勝 畑本雅康（京都ルネス病院 A チーム）
準優勝 土井敏行（もみじヶ丘病院 A チーム）
第三位 中原雄一郎（京都ルネス病院 A チーム）



優勝 京都ルネス病院 A チーム



準優勝 亀岡病院 B チーム



第三位 丹後中央病院 B チーム

一般社団法人 京都私立病院協会

創立55周年記念北部地区病院対抗ボウリング大会結果

○ 団体の部

優勝 京都ルネス病院 A (上野貴司・畑本雅康・名倉政希・中原雄一郎)

総得点 1,247点

準優勝 亀岡病院 B (俣野玄象・中村祐二・福嶋由也・国場翔一)

総得点 1,097点

第3位 丹後中央病院 B (岸本和也・岡出景輔・宮本 柊・饗庭一真)

総得点 1,064点

第5位 丹後中央病院 A (志水美智也・深田 健・堀田博之・杉江史啓)

総得点 1,051点

第15位 もみじヶ丘病院 B (塩見祐季・森 慎吾・藤原和明・馬場 眞)

総得点 873点

ブービー 京都ルネス病院 J (樽井竜生・田中 慎・平野なつ美・栗原萌衣)

総得点 833点

○ 個人の部

優勝 畑本雅康 (京都ルネス病院 A) 総得点 350点

準優勝 土井敏行 (もみじヶ丘病院 A) 総得点 329点 (得点差5)

第3位 中原雄一郎 (京都ルネス病院 A) 総得点 329点 (得点差9)

※同点の場合は1ゲーム目と2ゲーム目の得点差が少ない方が上位



個人優勝・準優勝・第三位

総評 創立50周年記念病院対抗ボウリング大会

大会実行委員長 山口 浩二（京都ルネス病院 事務部長）

創立55周年記念病院対抗ボウリング大会が11月10日（日）MKボウル上賀茂（京都市域）と12月8日（日）サンケイボウル福知山（北部地区）で開催されました。京都地域は5年前に開催した場所から変更してMKボウル上賀茂となり35チーム140名、北部地域は19チーム76名の参加者で熱戦が繰り広げられました。京都市域、北部地区共に多数のチームに参加を頂き、感心度の高く、参加しやすい身近な大会になっていると感じました。今回は創立55周年記念ということもあり、5のつく順位のチームには特別賞を取り入れる工夫を凝らしました。

ぶっつけ本番でプレーされる方、練習に何度か来られてから本番を迎えられた方いろいろでしたが、朝早くから練習するチーム、Tシャツにチーム名を入れるチーム、マイボール・マイ手袋・マイシューズを持参される方、前回のリベンジと意気込む方、家族ぐるみで応援に来られる方とそれぞれでした。京都市域は富田副会長、北部地区は富士原副会長の挨拶、始球式が行われ、いざ本番がスタート。ストライクやスペアをとる度に大きな歓声、ハイタッチが見られ、その一方ガターや、スペアがとれなかった時の悔しそうな光景が随所に見られました。前回から運営側として参加させて頂きましたが、各病院と参加者の意気込みは間違いなく向上していると感じました。結果ですが、団体戦では京都市域は優勝が京都きづ川病院Aチーム、準優勝が京都回生病院Bチーム、第三位が宇治病院チームとなり、北部地区は優勝が京都ルネス病院Aチーム、準優勝が亀岡病院Bチーム、第三位が丹後中央病院Bチームとなりました。特に京都市域は、個人戦の上位3名が全員女性でした。女性の活躍を凄く感じた結果となりました。反対に北部地区は、上位3名男性が独占と完全に分かれました。そんな中、当院の参加者を見ていると普段感情を表に出さない方、普段あまり話をしない方の姿を拝見する度に、こんな良いところを持っている職員もいる事を発見・感じる場面もありました。スポーツのなかでボウリングは普段あまり接する事がありませんが、感情が素直に表れ、発見しやすい、良いスポーツであると感じました。今年はラグビーワールドカップもあり日本は史上初ベスト8になった事は皆さまもご存知の通りですが、その上で流行語大賞でも「ワン チーム」が選ばれました。個人競技もあれば団体競技もありますが目指すところは同じ方向です。医療界でもどの部署、職種でも向かう方向性はその病院理念に基づくものです。皆が一つになれば大きな力、結果となり思った以上の力を発揮できるものであると確信した2日間でした。協会140を超える会員施設がこのような職員だけではなく家族も含めて親睦を深める場があればますます発展して弾みになるのではないのでしょうか。今後もより多くの会員施設、そしてチームに参加していただけるよう事務局と大会実行委員含め努力して参ります。皆様のご協力を賜りますようお願いいたします。



最後になりますが京都私立病院協会事務局をはじめとする関係者の皆様に改めて感謝申し上げます。ありがとうございました。